



平成31年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	3,534	1.3	26	68.9	55	43.1	24	64.2
30年2月期第1四半期	3,582	7.5	85	53.8	97	48.2	68	39.0

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 19百万円 (73.2%) 30年2月期第1四半期 71百万円 (43.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	9.21	9.20
30年2月期第1四半期	25.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第1四半期	5,208	1,111	20.5	402.06
30年2月期	5,141	1,087	20.3	392.86

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 1,069百万円 30年2月期 1,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		0.00	0.00
31年2月期					
31年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,120	0.5	48	5.5	88	14.9	47		17.73
通期	14,134	1.2	148		228		130		49.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	2,660,900 株	30年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	31年2月期1Q	145 株	30年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	2,660,755 株	30年2月期1Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が続き、緩やかな景気回復基調が継続しているものの、海外の政治情勢の不安定さに起因する海外経済の不確実性が高まっており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。国内の個人消費については持ち直しの動きがあるものの、外食に対する低価格指向は以前として根強い状態です。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材確保の競争激化に加え、消費者の節約志向やライフスタイルの変化などの影響から、業界内の環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化と店舗管理体制の見直しに加えて、カジュアルレストラングループにおける新業態の開発を推進してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、XEXグループの一部店舗におけるプライダル売上の減少に加えて、全社的な人件費および人材関連コスト等の高騰の影響から、売上高は3,534百万円（前年同期比1.3%減少）、営業利益は26百万円（同68.9%減少）、経常利益55百万円（同43.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円（同64.2%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、インバウンド需要の増加や継続的な販売強化の推進により既存店の売上は堅調に推移しましたが、一部店舗においてレストランウェディングの件数および売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,111百万円（前年同期比2.3%減少）、営業利益は50百万円（同39.3%減少）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、当第1四半期連結累計期間に国内において新たな出店はなく、既存店についてはサービスと料理の品質向上に注力し、売上高は概ね前年同期並みに推移いたしました。また、新業態「STEAK THE FIRST」の展開を推進し、平成30年3月に「G7 CRAFT BEER HIGHBALL」を「STEAK THE FIRST 四谷」に、「SALVATORE CUOMO & BAR 日本橋」を「STEAK THE FIRST 日本橋」に業態を変更いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,420百万円（前年同期比0.9%減少）、営業利益は244百万円（同13.5%減少）となりました。なお、店舗数は直営店45店舗、FC店48店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2百万円（前年同期比46.6%増加）、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加15百万円、売掛金の増加45百万円、原材料及び貯蔵品の増加4百万円、繰延税金資産の減少16百万円等によるものです。固定資産合計は2,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少19百万円、建設仮勘定の増加11百万円、のれんの減少10百万円、長期繰延税金資産の減少4百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は2,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加65百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少18百万円、未払金の増加54百万円、未払法人税等の減少24百万円、株主優待引当金の減少22百万円等によるものです。固定負債合計は1,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の減少55百万円、長期前受収益の減少20百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上24百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は20.5%（前連結会計年度末は20.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年4月16日の「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,137	1,527,476
売掛金	589,863	635,404
原材料及び貯蔵品	188,418	193,083
繰延税金資産	111,240	95,220
その他	173,679	224,629
貸倒引当金	△532	△537
流動資産合計	2,574,806	2,675,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,415	1,437,301
工具、器具及び備品(純額)	159,173	155,779
リース資産(純額)	52,379	48,118
建設仮勘定	4,559	15,845
その他(純額)	23,627	23,178
有形固定資産合計	1,696,156	1,680,222
無形固定資産		
のれん	96,361	85,654
その他	35,174	33,472
無形固定資産合計	131,536	119,126
投資その他の資産		
投資有価証券	426	406
長期貸付金	10,186	9,126
敷金及び保証金	639,508	640,758
繰延税金資産	90,790	86,318
その他	15,780	14,157
貸倒引当金	△17,346	△17,346
投資その他の資産合計	739,346	733,420
固定資産合計	2,567,039	2,532,770
資産合計	5,141,845	5,208,047
負債の部		
流動負債		
買掛金	591,409	656,639
1年内返済予定の長期借入金	616,986	598,481
未払金	592,683	647,520
未払法人税等	34,043	9,297
ポイント引当金	19,512	22,110
株主優待引当金	62,079	39,899
資産除去債務	28,680	28,680
その他	263,693	326,887
流動負債合計	2,209,086	2,329,515
固定負債		
長期借入金	1,159,520	1,103,551
資産除去債務	475,028	476,511
長期前受収益	64,710	44,550
その他	146,264	142,793
固定負債合計	1,845,523	1,767,406
負債合計	4,054,609	4,096,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	900,653
利益剰余金	△618,986	△594,488
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,109,709	1,136,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	87
為替換算調整勘定	△64,504	△66,494
その他の包括利益累計額合計	△64,403	△66,407
新株予約権	32,766	32,025
非支配株主持分	9,163	9,328
純資産合計	1,087,235	1,111,124
負債純資産合計	5,141,845	5,208,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	3,582,260	3,534,357
売上原価	2,885,298	2,880,736
売上総利益	696,962	653,621
販売費及び一般管理費	611,163	626,918
営業利益	85,799	26,702
営業外収益		
受取利息	46	51
協賛金収入	18,750	25,086
その他	3,782	9,549
営業外収益合計	22,578	34,687
営業外費用		
支払利息	5,427	4,827
為替差損	3,604	-
その他	1,764	1,076
営業外費用合計	10,796	5,903
経常利益	97,581	55,487
特別利益		
新株予約権戻入益	2,668	-
特別利益合計	2,668	-
税金等調整前四半期純利益	100,250	55,487
法人税、住民税及び事業税	35,497	13,806
法人税等調整額	△3,580	20,498
法人税等合計	31,916	34,304
四半期純利益	68,333	21,182
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	△3,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,416	24,497

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	68,333	21,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△14
為替換算調整勘定	3,213	△2,038
その他の包括利益合計	3,179	△2,052
四半期包括利益	71,513	19,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,691	22,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△178	△3,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,137,249	2,443,036	3,580,285	1,974	3,582,260	—	3,582,260
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	79,996	79,996	△79,996	—
計	1,137,249	2,443,036	3,580,285	81,971	3,662,257	△79,996	3,582,260
セグメント利益 又は損失(△)	82,551	282,938	365,489	△2,354	363,135	△277,336	85,799

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△277,336千円には、セグメント間取引消去額416千円、各セグメントに配分していない全社費用△277,752千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,111,199	2,420,263	3,531,463	2,894	3,534,357	—	3,534,357
セグメント間の内部売 上高又は振替高	26	1,565	1,592	113,238	114,831	△114,831	—
計	1,111,226	2,421,829	3,533,055	116,133	3,649,189	△114,831	3,534,357
セグメント利益 又は損失(△)	50,145	244,723	294,868	△5,076	289,792	△263,089	26,702

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△263,089千円には、セグメント間取引消去額1,016千円、各セグメントに配分していない全社費用△264,106千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。